

世界の自動車サーキュラーエコノミーの成長機会

【概要】

本調査では、世界の自動車サーキュラーエコノミーの成長機会について分析しています。具体的には、主要OEMの活動、4つの主要な活動領域（リマン、リサイクル、製品寿命の延長、持続可能な材料）の概況および事例、法規制などが含まれています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2015年から2030年までです。

【内容一覧】

戦略的重点

成長機会分析

- サーキュラーエコノミーの自動車業界への影響
- 自動車サーキュラーエコノミーの成長促進要因
- 自動車サーキュラーエコノミーの成長阻害要因
- サーキュラーエコノミー：概要
- サーキュラーエコノミー：メリット
- 自動車業界におけるサーキュラーエコノミーのニーズ
- 自動車サーキュラーエコノミー：中心的な活動
- 主な OEM のサーキュラーエコノミーロードマップ
- Volvo Cars のサーキュラーエコノミーコンセプト
- Nissan のサーキュラーエコノミーコンセプト：The Nissan Green Program 2022
- Renault グループのサーキュラーエコノミーコンセプト
- BMW グループのサーキュラーエコノミーコンセプト
- Toyota グループのサーキュラーエコノミーコンセプト
- Ford のサーキュラーエコノミー活動
- 自動車サーキュラーエコノミーエコシステム：主な企業

リマン

- 概要
- メリット
- 主なリマン企業
- 主な OEM の活動
- Nissan：ユースケース
- 一般的に再製造される主な部品

リサイクル

- 自動車業界におけるリサイクル：概要
- リサイクルされた自動車スクラップ
- 一般的にリサイクルされる自動車部品
- プラスチックリサイクル
- プラスチックリサイクルのユースケース：Lavergne
- プラスチックリサイクル：主な OEM の活動
- アルミリサイクル
- アルミリサイクルのユースケース：Novelis
- アルミリサイクル：主な OEM の活動
- スチールリサイクル
- グリーンスチール
- 自動車メーカーのグリーンスチールイニシアチブ
- タイヤのリサイクル
- タイヤリサイクルのユースケース：Wastefront
- タイヤリサイクルのユースケース：Bridgestone
- タイヤリサイクルのユースケース：Michelin
- リサイクルの動向：クローズドループのリサイクル
- 2021 年の Nissan Rogue：クローズドループ・リサイクルのユースケース

製品寿命の延長

- 概要
- 自動車業界における製品寿命の延長のための活動
- タイヤ寿命の延長：リトレッド
- 電子部品の整備：Faurecia
- 予知保全：Pitstop
- バッテリー寿命の延長：Twaice
- 車両モデルの寿命の延長：各種モデル
- 再利用による使用済み EV 電池の寿命延長
- EV バッテリーの再利用：主な OEM の取り組み
- EV バッテリーの再利用：Toyota の定置型エネルギー
- EV バッテリーの再利用：Nissan
- 定置型エネルギー貯蔵システム：Beeplanet Factory
- 定置型エネルギー貯蔵システム：Batteryloop
- バッテリー診断：Rejoule

持続可能な材料

- 自動車用の持続可能な材料：概要
- 自動車用の主な未来的な環境にやさしい材料
- ビーガンレザー：Vegea および AppleSkin
- ビーガンレザー：Mirum
- リサイクルポリエステルマイクロファイバー：Dinamica

- 圧縮木材複合材：Karuun
- 天然繊維材料：Amplitex
- バイオプラスチック：概況
- タイヤ業界における持続可能性
- 技術動向：OEM による持続可能な材料の使用
- 主な環境にやさしい材料のメリット：概説

サーキュラー・カー：ユースケース

- BMW I3
- Daimler S-Class
- Nissan Leaf
- Ford Focus
- Hyundai Ioniq 5
- アイントホーフェン工科大学の Noah

政府の取り組み

- EU の ELV（使用済み自動車）指令：サーキュラーエコノミーの促進要因
- 規制と優遇制度：EU 諸国
- 排出量ネットゼロ関連の法規制のある国
- 米国の一部の州の脱炭素政策
- ELV 政策のユースケース：インド
- ケーススタディ：Mahindra & Mahindra

成長機会のまとめ：自動車サーキュラーエコノミー

次のステップ